

にほん うんどうかい 日本の運動会

うんどうかい 運動会とは

がっこう しょくば ちいき おお ひと あつ
学校や職場、地域などで、多くの人が集まって
うんどうきょうぎ ゆうぎ たの ぎょうじ
運動競技や遊戯を楽しむ行事です。



まえ うんどうかい おこな あき き
前は運動会が行われたのは秋だとよく聞いてい
ましたが、最近では、運動会を秋ではなく、春に
かいさい ふ
開催するところが増えているようです。

あき かいさい ばあい がつまつ がつころ どにち おこな おお み
秋に開催する場合は9月末～11月頃の土日のいずれかで行われるケースが多く見
られます。

はる かいさい ばあい がつまつ がつあたまでにち どにち おお み
春に開催する場合は5月末～6月頭土日の土日のいずれかのケースが多く見られます。

きほんてき どうようび かいさい おお なか ねん かいうんどうかい ひら
基本的には土曜日に開催されることが多く、中には年に2回運動会を開くところもある
ようです。

うんどうかい れきし 運動会の歴史

にほん うんどうかい れきし めいじじだい さかのぼ
日本の運動会の歴史は、明治時代まで 遡ります。

ごろ にほん きんだいす ぽ つ ふ はじ じき
この頃の日本はちょうど近代スポーツに触れ始めた時期。

きんだいか めざ せいふ おお がっこう こくない せっち はじ
近代化を目指して、政府が多くの学校を国内に設置し始めた
ころ
頃です。



ねん きょうし まね おうべいじん しどう
そして1874年、教師として招かれた欧米人の指導のもと、

とうきょう つきじ そうせつ かいうんがっこう せりとうゆうぎかい よ がっこうぎょうじ じっし
東京、築地に創設された海運学校で、「競闘遊戯会」と呼ばれる学校行事が実施され
ました。

にほん はじ うんどうかい ご めいじじだいまっきころ
これが日本での初めての運動会といわれており、その後、明治時代末期頃から、
かくしょうがっこう うんどうかい まいとし がっこうぎょうじ ていちゃく
各小学校で運動会が毎年の学校行事として定着していきました。

うんどうかい もくひょう
運動会の目標

1) 勝つために全力を尽くす 全力でがんばる
力、団結力・連帯感、体力の向上、フェアプレー
の精神、勝敗への正しい態度等

2) 練習を通して集団行動を徹底させる
集団行動力、規律ある態度、協力、集中力等。
集団行動を身に付けるまたとない機会ととらえ
指導を徹底したいものです。

3) 高学年が運動会を運営していくことに誇りを
もたせる 責任感、協力、自尊感情等。

4) 開催地の「よさ」を地域に発信する 表現力、
発信力等。運動会は、最大の「学校公開」行事で
す。子どもの姿を通して、学校の教育力が分か
ります。

